

やさしさ



今年で20周年!!



「いつまでもおげんきで、園児から折り紙花のプレゼント」

山崎支部では、65歳以上のひとり暮らしの方を対象に、8つある地区ごとに「ひとり暮らしのつどい」を開催しています。

グループや城下幼稚園が演芸や合唱を披露されており、今年も銭太鼓と園児たちの元気な歌声が会場を盛り上げてくれました。

このつどいは、福祉連絡会が中心となり、民生児童委員や自治会女性部などの協力で、地区ごとに工夫を凝らした内容になっています。

9月28日(水)には、城下地区の20周年記念となるつどいが城下ふれあいセンターで開催されました。

毎年余興として、地域の芸能



「やっぱりにぎやかなご飯がええなぁ」いずみ会さん中心の手作り弁当に話もはずみます



「お茶をどうぞ。おあがり下さい」城下幼稚園の年長さんがお抹茶と茶菓子でおもてなし

(山崎支部 森井裕矢)

「涙が出たわ。ありがとう。」「楽しかったなあ。また会おう。」と、参加者のみなさんは楽しい時間を過ごされた様子。地域のみんなと交流し、ふれあうことが活力につながる、そんなつどいが、これからも長く続くことを期待しています。

いのちのみや

“こまどり会”復興支援イベント 追悼と復興への祈りを込めて

10月2日(日)、生谷温泉・伊沢の里(山崎町生谷)において「第5回こまどり会」歌謡ショーが行われました。

この催しは、こまどり会歌謡教室(代表Ⅱ岩神聡さん・一宮町河原田)の主催で毎年行われているもので、今回は東日本大震災の復興支援チャリティーとして、25人の会員が追悼と復興への祈りを込めて「おんなの挽歌(鎮魂歌)」を歌いました。

また特別ゲストとして、シャンソン歌手の三谷京子さんやケーナ(縦笛)奏者の石田浩正さんが登場。チャリティーの趣旨に賛同してノーギャラで出演し、来場のみなさんを魅了しました。



最後には、東日本大震災被災者への応援歌「がんばれ援歌」を全員で合唱



当日は河原田公民館より送迎バスが運行され、地元のみなさんも歌謡ショーに参加しました(写真は復興支援バザー)

「二日も早い復興を祈ってやみません」と岩神さん。また、同時に開催の復興支援バザーでは、7万3931円が集まり、収益金は東日本大震災の義援金として届けられました。(本部・一宮支部 波多野好則)